

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

兵庫県

行事名称	「第 66 回文化財防火デー」に伴う一乗寺防火訓練
実施期間・日時	令和 2 年 1 月 26 日 9 : 00 ~ 10 : 00
実施場所	国宝一乗寺三重塔ほか重要文化財 4 棟（兵庫県加西市坂本町 821-17）
主催者	加西消防署・加西市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

午前 9 時、一乗寺三重塔から出火、周辺山林へ延焼中の想定

訓練の内容

午前 9 時、一乗寺三重塔から出火、山林へ延焼中との想定で訓練を開始する。

管理人は、自動火災報知設備により火災を覚知、消防署へ 119 番通報する。通報後、三重塔東側の屋内消火栓（屋外設置）で初期消火を行うとともに、重要文化財の搬出及び避難誘導に務める。

消防署及び消防団は、通報を受け出動し、消火活動及び延焼防止に努める。

参加者及び役割分担

加西消防署：13 名 / 全体統括・放水訓練・講評

加西市消防団：91 名 / 消火訓練・交通整理

加西市教育委員会：1 名 加西市総務部：3 名 / 現場立会い

一乗寺関係者：4 名 / 119 番通報・初期消火・重要文化財の搬出・避難誘導

特に工夫した点

撤収後に参道等石敷きの凍結防止のため、凍結防止剤を用意し必要な場合は散布する。

※本年度は凍結の恐れが無かったため不使用。

問題点・課題

境内全体が山の斜面に立地し、火点にアプローチする参道が狭く折れ曲がっているため、余剰ホースの延伸スペースの確保に工夫が必要。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



消防団による放水訓練